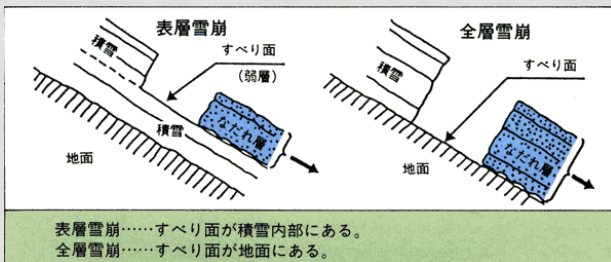


# ◎ 雪崩に注意して下さい

積雪量が多くなる季節は、雪崩発生危険性が高まりますので、次のことがらに留意し、被害にあわないよう十分気をつけてください。

## ○ 表層雪崩、全層雪崩とは？

雪崩は、すべり面の違いによって表層雪崩と全層雪崩に分けられています。



## ○ 発生しやすい場所

一般的に、傾斜が30度以上になると発生しやすくなり、特に35度～45度が最も危険と言われています。



## ○ 雪崩発生の前兆現象 (主なもの)



### スノーボール

斜面をボールのような雪のかたまりがころころ落ちてくる現象。これは雪庇や巻だれの一部が落ちてきたもので、雪崩につながる危険があります。スノーボールが多く見られるときは特に注意が必要です。



### クラック

斜面にひっかき傷のような雪の裂け目が現われる現象。これは、積もっていた雪がゆるみ、少しずつ動き出そうとしている状態です。その動きが大きくなると全層雪崩が起こる危険があります。



### 雪しわ

ふやけた指先のシワ状の雪の模様が現われる現象。これは、積もっていた雪がゆるみ、少しずつ動き出そうとしている状態です。積雪が少なくても、全層雪崩が起こる危険があります。

## ○ 雪崩から身を守るために

- 急な斜面には近づかないでください。
- 急な積雪や急な気温上昇の際には、特に注意してください。
- 前兆現象や雪崩の発生を見つけたら、各行政機関や消防関係へお知らせ下さい。
- 皆さんの近くの雪崩危険箇所について、事前にご確認下さい。
- 児童、生徒の通学路や、お年寄りなどご自分で避難できない方のお宅や施設付近の危険箇所には特に留意し、安全確保に配慮してください。
- 屋根雪も落下しやすくなっており、軒下での作業や通行には十分気をつけてください。
- 斜面付近の住宅では建物の二階などの高く、斜面から離れた場所で生活するよう心掛けてください。
- 外出する場合は斜面の状況に注意し、斜面から離れて通行するなど、十分注意してください。